

常総市地域福祉計画アンケート調査 報告書 ～民生委員・児童委員、自治区長、介護予防推進員～

1. 調査の目的

活動の実態や地域福祉の課題などについてのご意見をお聞きし、計画策定の基礎資料とするために実施する。

2. 調査方法

(1) 調査対象

地域福祉の担い手となっている、民生委員・児童委員、自治区長、介護予防推進員の方 567 名

(2) 調査方法

- ①郵送配布、郵送回収
- ②インターネット

(3) 調査期間

令和 6 年 8 月 1 日（木）～令和 6 年 8 月 19 日（月）

(4) 回収状況

回答数 397 件（回答率：70.0%）

3. 調査結果

■活動内容について

- 役割と経験年数については、自治区長は 3 年未満が約 80%となっていますが、介護予防推進員は 10 年以上が 45.1%と半数近くとなっています。民生委員・児童委員は、1～3 年未満と 5～10 年未満が多くなっています。
- 活動を始めたきっかけについては、民生委員・児童委員は知人や先輩にすすめられたが 52.0%、自治区長は持ち回りで担当になったが 60.4%とそれぞれ半数を占めていますが、介護予防推進員は、住みよい地域づくりに役立ちたい、社会との関わりを持っていたいなど、きっかけが多様になっています。
- 活動については、回答者の 70%がやりがいを感じていますが、半数以上が負担を感じており、会合や行事への参加、体力的な負担、日常の事務の多さなどに負担を感じています。
- 活動を行う上で困っていることについては、活動について地域住民の理解がないこと、他の団体との連携や協力、活動内容の広報やアピールなどが多くなっています。

■支援を必要とする人に対する対応について

- 災害時に援護を必要とする人（要援護者）については、情報がないという回答が 40.6%、また名前は知っているが支援方法が分からないが 26.2%で、名前も支援方法も知っているという回答は

15.1%となっています。

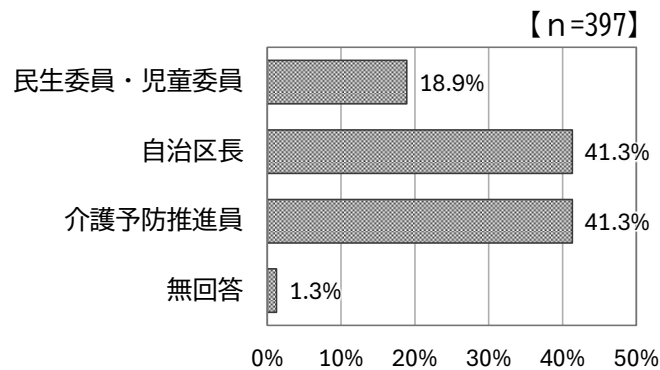
- 認知症高齢者の増加に対する取り組みとしては、地域の見守り体制の充実、認知症高齢者の家族を支援する体制の充実、認知症についての正しい理解などが多くなっています。
- 虐待防止に対する取り組みとしては、困った時の相談窓口・体制の充実、虐待の早期発見などが多くなっています。

■地域の変化について

- 最近の地域の状況については、高齢者だけの世帯が増えている、住民同士のつながりが薄くなっている、少子化が進んでいるなどが多くなっています。

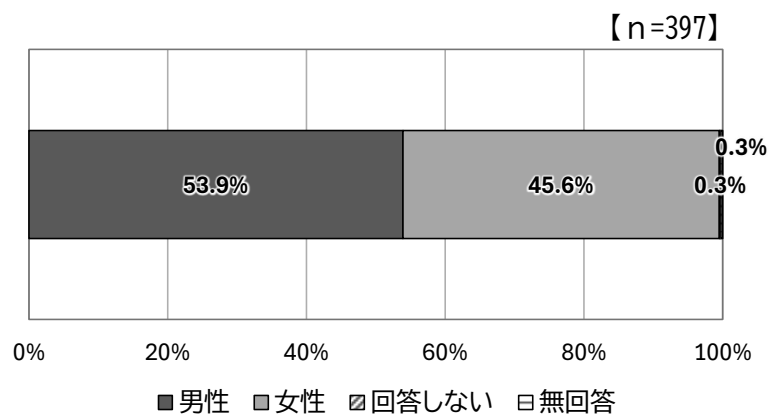
問1 地域におけるあなたの役割を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

○地域における役割は、「自治区長」と「介護予防推進員」が41.3%、「民生委員・児童委員」が18.9%となっています。



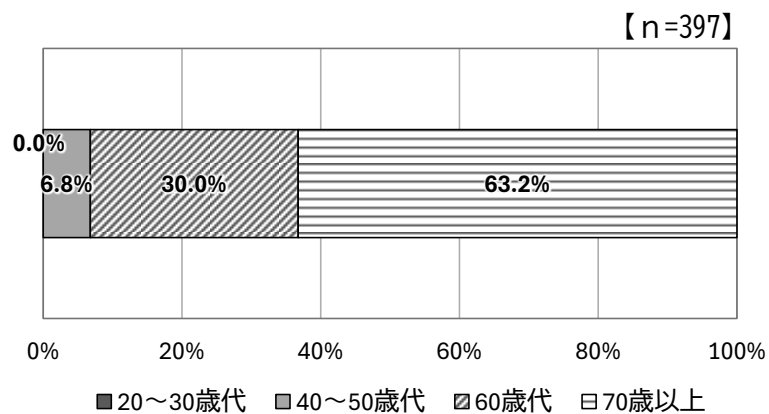
問2 性別を教えてください。（1つに○）

○性別は、「男性」が53.9%、「女性」が45.6%、「回答しない」が0.3%となっています。



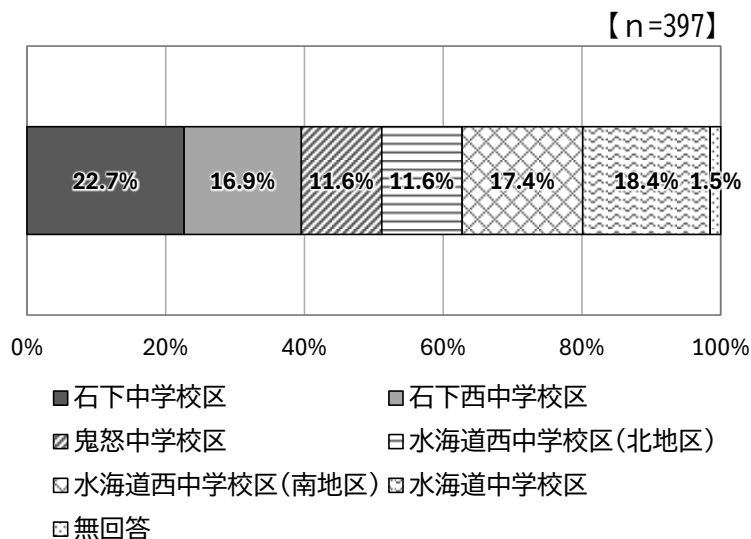
問3 年齢を教えてください。（1つに○）

○年齢については、「70歳以上」が63.2%と最も多くなっています。



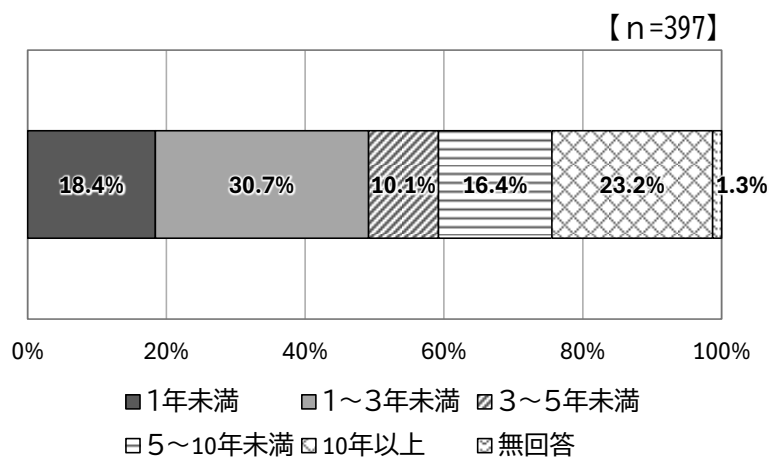
問4 お住まいの地区を教えてください。(1つに○)

○お住まいの地区については、「石下中学校区」(22.7%)、「水海道中学校区」(18.4%)、「水海道西中学校区(南地区)」(17.4%)、「石下西中学校区」(16.9%)、「鬼怒中学校区」(11.6%)、「水海道西中学校区(北地区)」(11.6%)となっています。

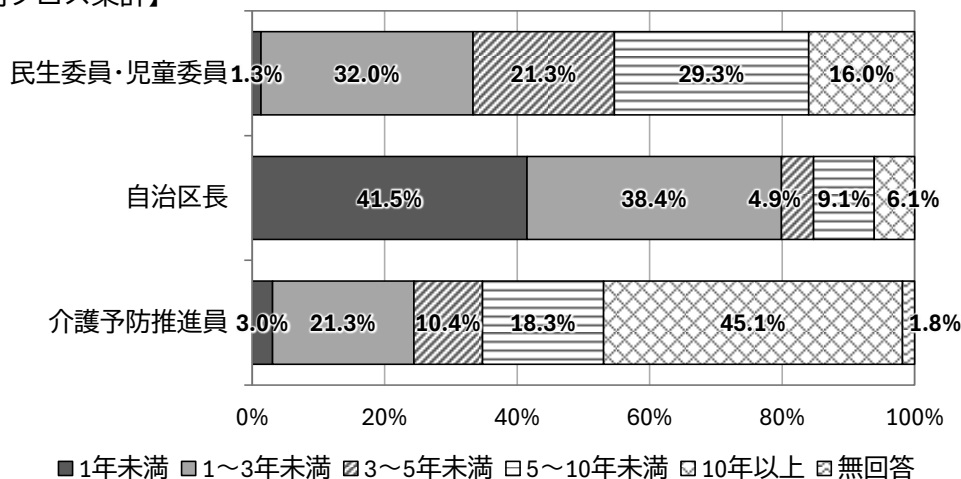


問5 現在の活動を行って何年になりますか。(1つに○)

○現在の活動の経験年数は、「1～3年」が30.7%、「10年以上」が23.2%となっています。

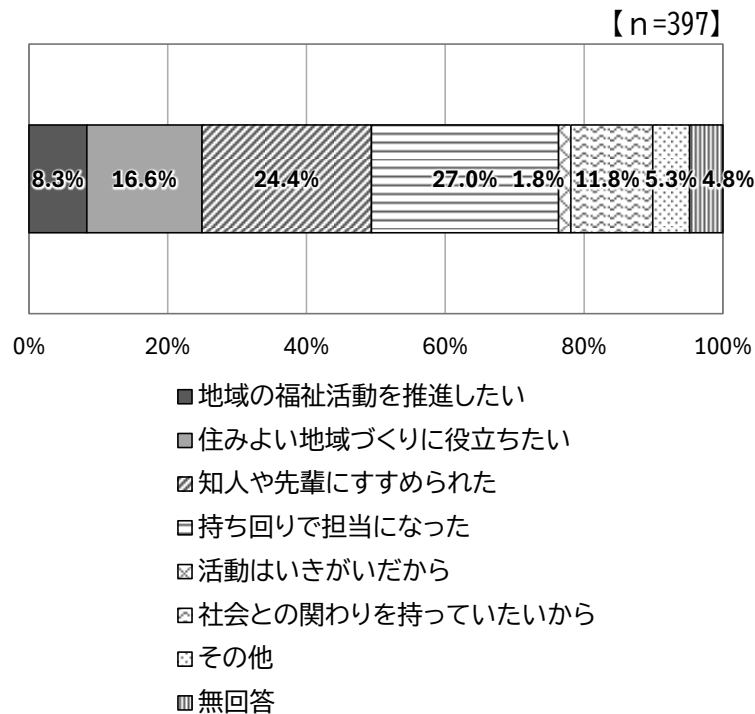


【役割別クロス集計】

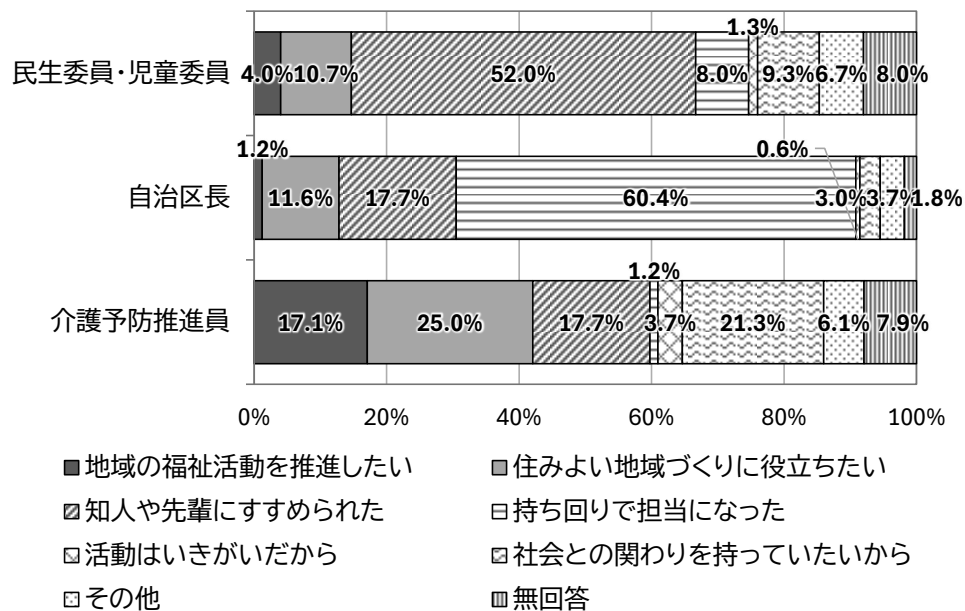


問6 活動を始めた理由は主に何ですか。(1つに○)

○活動を始めた理由は、「持ち回りで担当になった」が27.0%、「知人や先輩にすすめられた」が24.4%となっています。



【役割別クロス集計】

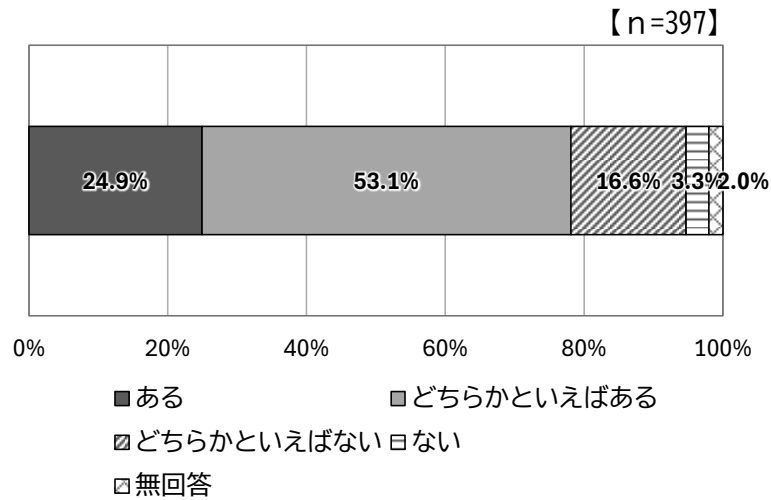


◆その他の意見

回答者No.	記述内容
25	依頼を受けた
28	親が認知症になったので。
33	市の依頼
63	自治区長をやる人がいない
85	自信がなかったのですが、役所の方が再三訪問され、自分でも何かの役に立つのなら、という気持ちになりました。
88	特に決められた行動はないが、家族にフレイル状態の者がいるので、勉強のために推進員の研修に参加。
103	自分の健康のため。
120	自分の健康維持のため。
130	親の介護に入る前に筑波大朝日先生の話聞きに行ってから。
157	市職員からの依頼
191	兄の死に際して受け継いだ
209	前民生委員から何回も勧められた。
259	介護予防推進員立ち上げの際に、民生委員・児童委員をやっていた
304	やり手がいない
315	地区の推薦
375	前の自治区長の推薦
377	先輩が体調を崩し、代わってほしいと依頼され、受けた形
380	やる方がいないのでしかたなく
383	前任者が体調を崩し、依頼された
397	己のため

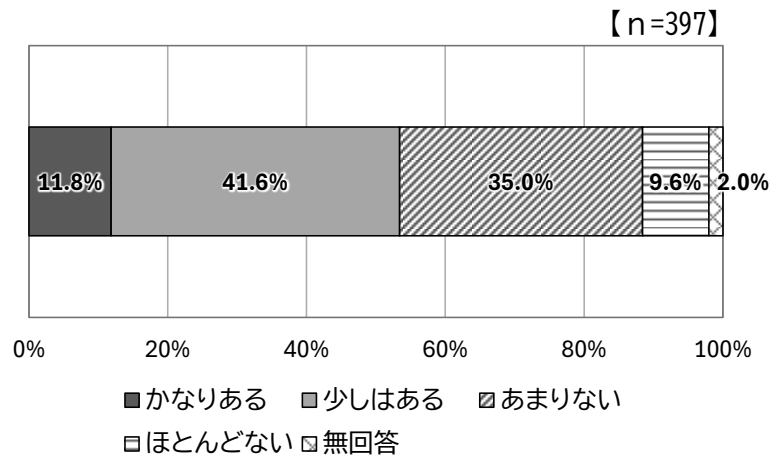
問7 活動について、やりがいがありますか。(1つに○)

○やりがいについては、「どちらかといえばある」が53.1%と最も多く、次いで「ある」が24.9%で、70%以上がやりがいを感じている。



問8 活動する上での負担感がありますか。(1つに○)

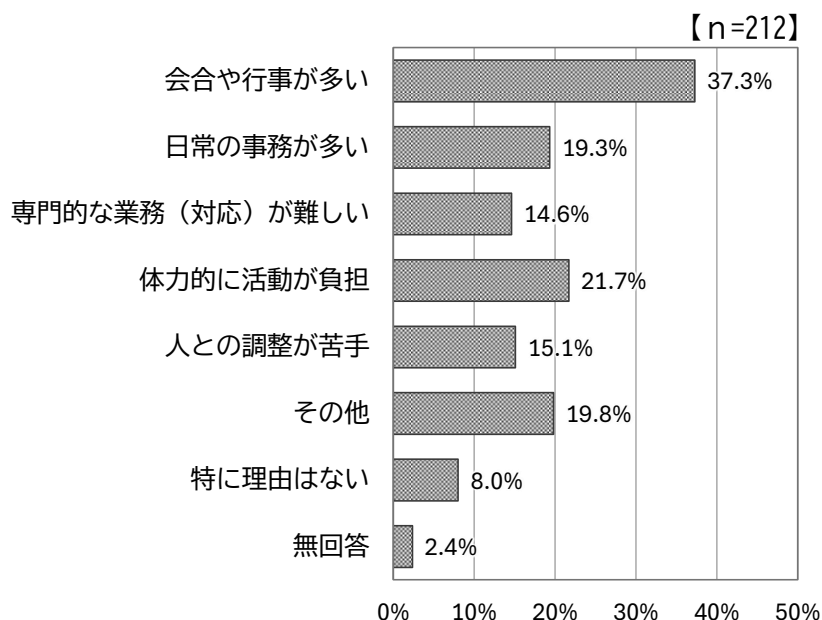
○負担感については、「少しある」が41.6%、「かなりある」が11.8%で、半数以上が負担を感じています。



[問8-1は、問8で「1」又は「2」とお答えの方に伺います。]

問8-1 負担を感じるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

○負担を感じる理由については、「会合や行事が多い」が37.3%と最も多く、次いで、「体力的に活動が負担」(21.7%)、「日常の事務が多い」(19.3%)となっています。



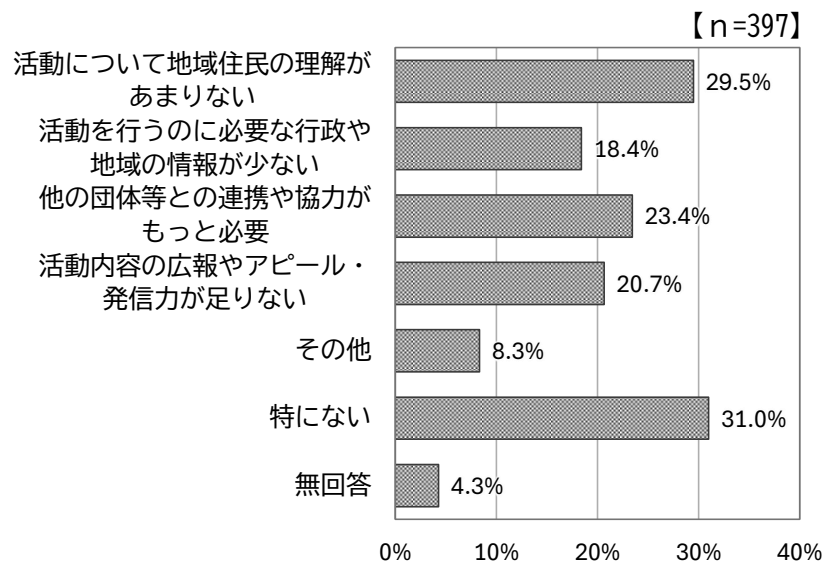
◆その他の意見

回答者No.	記述内容
8	平日対応が難しい
11	介護をしていたので
18	訪問しても顔を合わせてくれる方が少ない、または不審者、サギと思われることがある。達成できない訪問が増えた。
23	自治会運営に対しての準備、調整、実務が負担
25	対応に難しい人がある
36	少しは体に負担はありますが、楽に頑張っています。皆様と一緒に
37	自分の住まい以外の地域も担当しているため、気を使う。
39	対人関係
43	家のことと会合行事の調整がつかないことがある。
50	夏期は活動できないので負担を感じる
63	仕事での休みが日曜日しかなく、市役所に行けないから自治区長以外の役職もかけもっている
73	訪問が面倒。
77	当日の掃除、部屋の準備、ラジカセ等の荷物持ち込み、参加者の送迎等
83	広報等配布作業。地域団体等の会費の集金
89	広報多し。
91	仕事をしていると時間的にきつい面がある。
142	仕事や他のことで忙しい。
172	思い入れが強すぎて、その立場になり考えてしまう。
186	会場までの送迎を頼まれるが、その時に思わぬ事故があったらどうするか。

188	仕事との両立
219	パート and 他のボランティア（祭り）
231	自宅で介護者がいるので、なかなか外出が難しい。
238	世代間の意識差に翻弄される
239	家業の仕事と家事で時間が取れない
255	参加人数が減っている
256	配布別が多い
258	会合や行事が水海道方面は多いような気がして、運転に自信がない為
292	平日は仕事をしているので参加できないものもある
313	行事、活動の調整が難しい。
316	アンケート等の回答や調査
323	会社員であるため
326	全く知らない方々と接するのが、少々気おくれがする。
338	仕事をしているため、会合等の時は休みをとる場合が多い
355	業務が増えてくる
359	会社員の為、時間の調整が難しい。
372	個人情報等を理由に対応してもらえない
375	広報誌等、その他の配布物が多すぎだから
377	仕事や家事との兼ね合いを取るのが、まだ難しい。時間があまり割けない。
380	福祉会費や寄付金などのお金集めが面倒で大変
381	企画立案に苦労している
384	自治会内の連絡で、SNS を活用できていないため、訪問又は電話連絡となり、相手方とうまく連絡が取れない時に負担に感じます。
386	高齢化が進み、役員を出来る人数が少ない

問9 活動を行う上で、困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

○活動を行う上で困っていることについては、「活動について地域住民の理解があまりない」が29.5%と最も多く、そのほか、「他の団体等との連携や協力がもっと必要」（23.4%）、「活動内容の広報やアピール・発信力が足りない」（20.7%）、「活動を行うのに必要な行政や地域の情報が少ない」（18.4%）となっています。



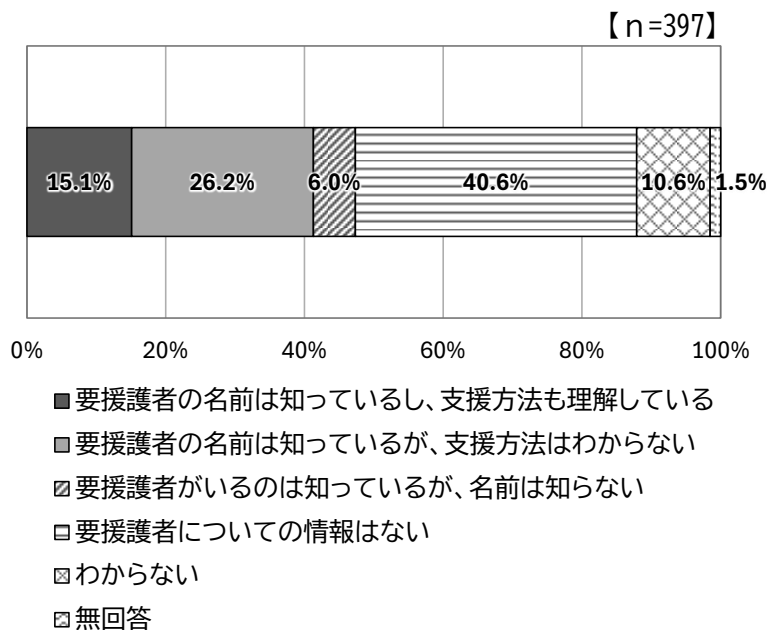
◆その他の意見

回答者No.	記述内容
8	町内会に加入、非加入がわかりづらい
23	人材不足
32	行政サイドの広報・情報の発信が多すぎる。したがって受取り側の住民は、選択に困り、結果、行政任せになる。
35	次の役員引き受け手がない。
38	若者がいない。
59	参加する人が少ない
63	住民がマイナス思考の人が多く、すぐに文句を言う人が多い
77	推進員の高齢化で動けない
81	会員の高齢者（机や椅子などのセッティングが重すぎてやってくれる人がいない。準備が大変！）
85	家業や家族構成など民生委員各自の時間的な条件も異なり、なかなか受け持ちの区域の見回りや訪問に時間が使えず、自宅から遠くに住む人に目が届きにくく、心苦しく思うことが多い。
129	仕事をしているので、なかなか参加できない。
145	通常業務（仕事）、他任意団体の役員をしているので時間の調整が大変。
157	活動に参加する方が少なすぎる
168	活動する上で、活動費が若干少ない
172	ポツンと一軒家をよく見ます。そしてやがてこの地区もそうなるのでしょうかと身につまされます。若い人が住みやすくする為には？大学卒業すると都会へ就職してしまい、仕事がらみ、家族がらみの居住となり田舎へは戻らない。先人たちが手作業で築いても、また元の原野と化す時代の流れとして見過ごすわけにはいかないでしょう。
191	活動をすればするほど、忙しくなる。
220	推進員を地域でもっと増やしたい。
254	ゴミ処理関係（外国人によると思われる、地区外からの搬入、未分別、粗大ゴミ）
300	支え合いの地域づくりに、住民参加の意識が高まらない
316	区長が福祉だけでなく、防災・社協・教育後援会・老人ホーム役員等、様々な役職を兼任しており、仕事を持っている立場から、大変忙しい状況である。
319	仕事と家の都合で、今は活動を行っていない
323	一部外国人世帯が自治会に入っていない
327	訪問時に名札をつけていかないと怪しまれます。
342	会場まで来られない人が多い。
356	活動は、現在責任者の方の意見に従って動いているのが現実なので、私自身の理解はそこまでいっていない。
377	まだあまり活動できていないので、地域の方を覚えていない。
380	一斉清掃時、年配の方は足が痛いなどで参加しない方もいるが、家庭によっては毎回参加しない方もいる、参加しない方を見過ごすべきか悩むところです。
386	①この先、自治会が持続可能かに不安を感じます。 世帯数減少に伴い、今期より自治会収支が赤字になる予定。既に年会費が高いと感じる方が多いため、これ以上の値上げは難しい。これからは、貯金を切り崩し

	て対応するが、いずれ限界は来るので、将来的には解散なども視野にいれなければならないと考える。先日の街路灯電気代の市負担の策は、毎年提出している自治会の決算書で既に市側は、持続不可能な自治区に近い将来出てくることを想定しているのではないかと感じた。地域に根付いた福祉の在り方を議論すると同時並行で、この先の自治会の在り方も市が主体となって議論頂きたいです。 ②地域や自治会が慣習の中で維持管理していた建築物等（市所有では無い）（所有者不明又は不存在のものを含む）の今後の維持管理に不安を感じます。
392	民生委員になる事によって地区の各種役員やボランティアにも自動的に配属される事になり多忙となっている事
395	行事等で色んな人と会うけど、人の顔と名前が覚えきれない。
397	立ち位置がわからない

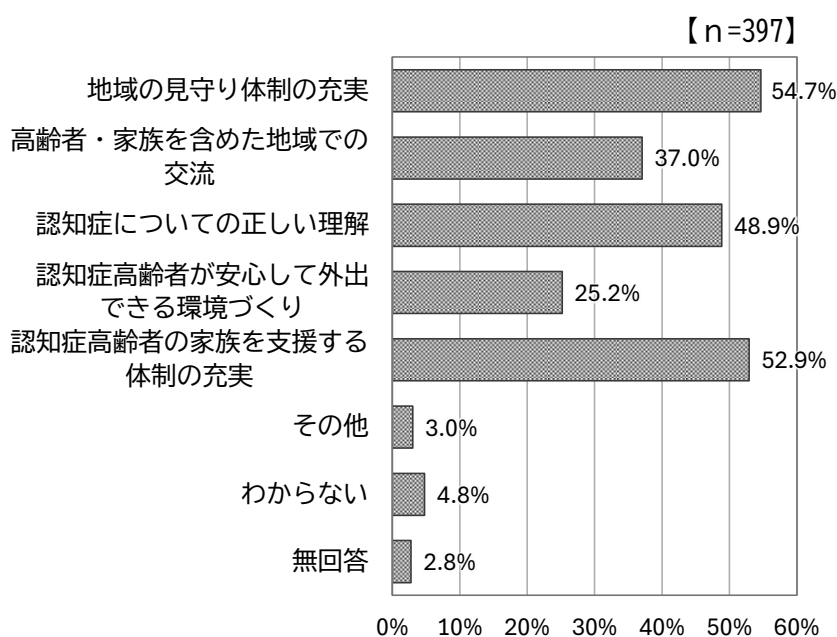
問 10 地域の中で、緊急時に援護を必要とする人（要援護者）の家庭は、知っていますか。（1つに○）

○要援護者の認識については、「要援護者についての情報はない」が 40.6%と最も多く、次いで、「要援護者の名前は知っているが、支援方法はわからない」が 26.2%となっています。



問 11 認知症高齢者の増加に対応して、地域で重要な取り組みはどのようなことだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

○認知症高齢者の増加に対する地域での取り組みについては、「地域の見守り体制の充実」（54.7%）、「認知症高齢者の家族を支援する体制の充実」（52.9%）、「認知症についての正しい理解」（48.9%）などが多くなっています。

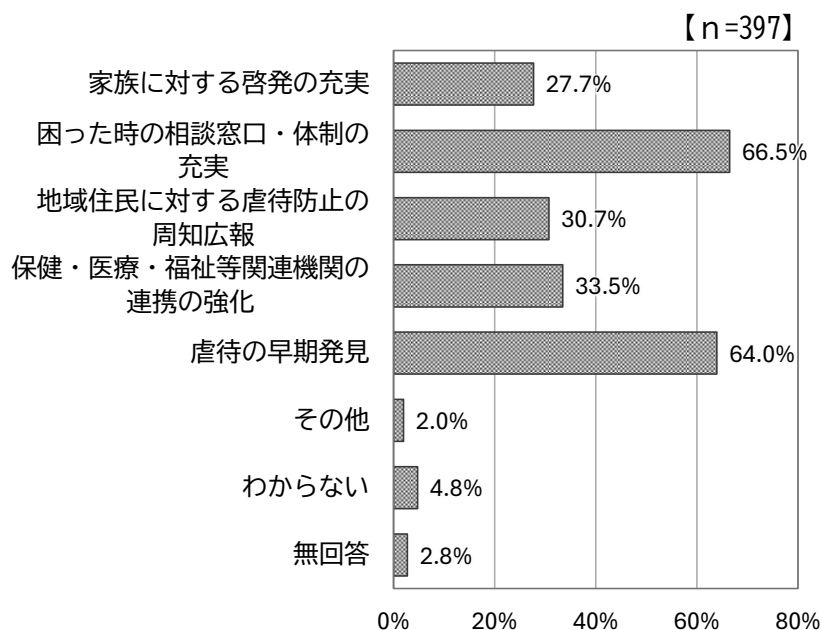


◆その他の意見

回答者No.	記述内容
13	一人暮らしの方と家族が居られる方への支援は別だと思います。
23	独居高齢者増による地域住民でのカバーには限界あり
28	データーを（個人情報の壁厚し）
32	地域に知られたくない人もおり、プライバシー保護が困難
33	家族の方が地域の方に知っておいて頂いた方が周囲でも見守りやすいのではないかと思います。
36	若い人たちはどのように考えているのか、これが一番の問題と思います。
55	認知症の人への理解と正しい知識を深める
108	3世代の交流。
157	近隣のお付き合いが薄くなり、状況がつかみにくい。
300	次代を担っていく中年層の関わりと協力する思いはあるが忙しい。
342	大きな交差点のカメラ設置。行動の確認をしやすくする。
355	医者から認知症と診断され、薬をもらう。行政にサポート依頼。

問 12 虐待防止について、どのような対策が重要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

○虐待防止については、「困った時の相談窓口・体制の充実」（66.5%）、「虐待の早期発見」（64.0%）が多くなっています。



◆その他の意見

回答者No.	記述内容
28	地区の推進員の活用を。
45	生活困窮者の関わり
63	猥と虐待の区別
281	すぐに警察に通報。特に小さい子供の場合は、親から完全に離し、絶対に戻してはならない。児童相談所はあてにならない。
319	今は活動に参加してないので、よくわからない
377	虐待をしてしまう加害者の方も何かしらのトラブル・困りごとを抱えているので、そちらのフォローも、とても大切だと思います。国レベルで修正をしていく必要性は感じています。
397	地域(自治区内でも良い)内での定期的な交流機会を設ける

問 13 最近の地域の状況をどのように思いますか。(あてはまるものすべてに○)

○最近の地域の状況について感じることは、「高齢者だけの世帯が増えている」(84.9%)、「住民同士のつながりが薄くなっている」(77.3%)、「少子化が進んでいる」(69.5%) などが多くなっています。

